

令和 7 年度（第 47 回）金光楯岡山県柔道選手権大会

岡山県柔道連盟
会長 高橋 一之

岡山県柔道の発展に功顕のあった故金光弥一兵衛先生の業績を称え、金光先生胸像建立を記念して、岡山県柔道の正常な発展を期し、標記大会を毎年開催することにした。

今年は次の要項により開催します。

記

1 日 時 令和 7 年 9 月 2 3 日（火・祝） 午前 10 時

役員及び選手は午前 9 時集合

2 会 場 「岡山武道館」 岡山市北区いずみ町 2-1-8

3 主 催 岡山県柔道連盟

4 参加選手は岡山県内に勤務及び在学者（少年団を除き、他の部門は、国スポーツ県選考会、各全国大会県予選会出場者より選出）で、次の 5 部門に分かれる。

- | | | | |
|----------------|------|----------------|------|
| ① 高 校 の 部 | 32 名 | ② 中 学 校 の 部 | 32 名 |
| ③ 女 子 の 部 | 32 名 | ④ 少年団（5・6 年）の部 | 60 名 |
| ⑤ 少年団（3・4 年）の部 | 60 名 | | |

5 試合方法 トーナメント方式により優勝者を決定する。

6 試合規定 最新の国際柔道連盟試合審判規程（高校は全国高体連柔道専門部申し合わせ事項、中学、スポーツ少年団は少年大会特別規定）を適用する。試合時間は、3 分間とする。勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」「僅差」「判定」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」があった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。差がない場合は、旗判定で勝敗を決する（延長戦は行わない）。なお、女子の部で、対戦選手が中学生の場合は少年大会特別規程を適用する。

7 表 彰 3 位までを表彰する。

8 そ の 他 ① 参 加 料 1 人 1,100 円

② 優勝楯は次期大会まで優勝者が保管するものとする。